		社会人（中小ゼネコン社員）向け				女性向け	
		社会基盤（土木）分野	提案理由 等	建築分野	提案理由 等		提案理由 等
講座設定の背景	対象者の属性 ＊あくまでも目安。応募者は原則的に受入れる。	現場を数年経験した 中堅社員候補	「学び直し」の意義がある タイミング。	現場を数年経験した 中堅社員候補	「学び直し」の意義がある タイミング。	子育て後の女性	仕事復帰ニーズが強く、 講座に参加しやすい。
	対象者のニーズ	ある程度仕事ができるように なった後のスキルアップをめざす。	自分ではつくりにくい「学び 直し」の「きっかけ」づくり。	ある程度仕事ができるように なった後のスキルアップをめざす。	自分ではつくりにくい「学び 直し」の「きっかけ」づくり。	段階的仕事復帰をめざしている。	「きっかけ」を与える必要が ある。
	講座の目的	すでに身につけた技術を「ふりかえり」 （再認識）するとともに、新しい技術に チャレンジする。	日常業務に刺激を与え、 視野を広げる機会とする。	すでに身につけた技術を「ふりかえり」 （再認識）するとともに、新しい技術に チャレンジする。	日常業務に刺激を与え、 視野を広げる機会とする。	仕事復帰に必要なスキルの選択肢を 提供する。	身につけるスキルの分野を 選ぶニーズがある。
	講座の特色	今後重要度を増すメンテナンスと IT 技術のマッチングを実感する。	日常業務の展開のための ヒントを提供する。	今後重要度を増す BIM の基礎を 先取りする。	CAD と BIM の基本思想の 違いを理解しておく必要が ある。	仕事復帰に必要なスキルの基礎を教える。	建設の基礎を教えることを 中心にすえる。
講座名		～新しい技術にチャレンジ～ インフラメンテナンス＋CIM の基礎		～新しい技術にチャレンジ～ CAD の応用＋BIM の基礎		～仕事復帰準備講座～ 建設業経理とインテリアコーディネーター、CAD の基礎	
講座の内容	講座の構成	・インフラメンテナンス①（5）*時間 ー 劣化・点検・補修 ・インフラメンテナンス②（2） ー ライフサイクルマネージメント ー スマートメンテナンス ・CIM の基礎（8）	講座後の自習が可能となるように配慮する。 CIM は維持管理が主目的。 協賛 オートデスク㈱	・CAD の応用（5） ・BIM の基礎①（5） ・BIM の基礎②（5）	講座後の自習が可能となるように配慮する。 BIM が主流になる可能性が大。 協賛 オートデスク㈱	・建築とは（8） ー 基本を知ってスキルと結びつける ・建設業経理の基礎（6） ・インテリアコーディネーターの基礎（6） ・CAD の基礎（10）	講座後の自習が可能となるように配慮する。 建設の基礎を理解した上で身につけるべきスキルを選択できるようにする。 協賛 エーアンドエー㈱
	実施要領 実施期間	前半 2014 年 11 月 2 日（日）、9 日（日）、16 日（日） ／ 後半 2014 年 11 月 23 日（日）、30 日（日）、12 月 7 日（日）				2014 年 11 月 2 日、9 日、16 日、23 日、30 日、12 月 7 日 各日曜日	
	実施日等	週 1 回 日曜日 13:00～18:00	講座内容とバランスさせた、参加しやすい設定。 学校の体制。	週 1 回 日曜日 13:00～18:00	講座内容とバランスさせた、参加しやすい設定。 学校の体制。	週 1 回 日曜日 13:00～18:00	講座内容とバランスさせた、参加しやすい設定。 学校の体制。
	時間構成 /総時間	5 時間×3 週 / 15 時間		5 時間×3 週 / 15 時間		5 時間×6 週 / 30 時間	
	場所	日本工学院八王子専門学校				日本工学院八王子専門学校	
	募集 募集人数	10 名程度	講座密度を高める。 設備・教員のキャパ。	10 名程度	講座密度を高める。 設備・教員のキャパ。	10 名程度	講座密度を高める。 設備・教員のキャパ。
	募集方法	WEB 上、地域の人的ネットワーク	人的ネットワークを重視。	WEB 上、地域の人的ネットワーク	人的ネットワークを重視。	WEB 上、チラシ配布	チラシは「八王子みなみ野」を中心に。
達成度評価	受講者自己評価	毎回、講座前及び講座後にアンケート。					
	第三者評価	コンソーシアム委員による。講座視察後、アンケート及びヒアリング。					
備考		講座の予習資料、さらにステップアップするための資料、講座の映像記録を WEB 上で限定公開するなどを検討する。					